

# NST・栄養管理委員会

## 1．委員会組織への改編

栄養サポートチーム(Nutrition Support Team：以下 NST)とは、栄養評価・栄養管理の側面から患者さまの治療のサポートを行なっている院長直属組織である。当院の NST は 2002 年に発足し活動を行ってきたが、活動範囲の拡大と業務内容の多様化に伴い、2005 年 3 月より"NST・栄養管理委員会"として委員会組織への改編を行った。

## 2．NST・栄養管理委員会の構成職種

NST・栄養管理委員会は、NST 担当医師(うち 1 名はアメリカ静脈経腸学会認定栄養サポート専門医、8 名は日本静脈経腸栄養学会 Total Nutrition Therapy 講習修了者)、各病棟看護師、管理栄養士、薬剤師、言語聴覚士、内視鏡室技師、臨床検査技師、歯科・口腔外科医師、歯科衛生士から構成されている。

## 3．委員会日程

NST・栄養管理委員会は、原則として月 2 回、第 1・3 土曜日に開催された。

## 4．2005 年度活動内容

### 1)入院時栄養状態のスクリーニング

NST 依頼の有無に関わらず、褥瘡発生ハイリスクスクリーニングの一環として、入院全患者に対して入院時の栄養状態のスクリーニングを行った。このスクリーニングは、看護師による入院時の主観的包括的評価と、管理栄養士による血液検査データ評価の 2 つで構成されており、結果はすべてレポートで電子カルテに記載を行った。2005 年度のスクリーニング総数は 13,016 件であった。

### 2)臨床栄養サポート

NST に依頼があった患者さまについて、管理栄養士による初期栄養評価を行い、それに基づいて今後の栄養療法に関して主治医・担当医に提案を行った。その後も定期的に栄養状態のフォローアップを行い、各職種が集まり討議を行った上で、栄養療法の調整を行った。2005 年度の依頼件数は 426 件であり、これは年々増加傾向である。また、歯科センターの協力の下で、歯科医師・歯科衛生士による病棟口腔ケアも継続して実施している。

### 3)さくら食の開発・導入

化学療法中で、食欲低下、味覚障害、悪心・嘔吐などの消化器症状のため、十分に食事摂取出来ない患者さまのために、あっさりとしたメニュー中心の"さくら食"を、栄養室の協力の下で新たに開発し導入した。

### 4)輸液製剤絞り込み

院内輸液製剤絞り込みワーキンググループに対して、栄養輸液の観点から、委員会としての意見を提言した。

### 5)食道嚥下造影検査の充実

根本言語聴覚士、宮越医師を中心に、嚥下障害をもつ患者さまのための食道嚥下機能検査が積極的に

実施された。また、検査依頼や実施のシステムや手順について、委員会でも討議が行われた。

#### 6)臨床栄養コアレクチャー

初期研修医を対象としたコアレクチャーの一環として、臨床栄養コアレクチャー(全 6 回)を行った。うち 1 回については、小野沢医師により経鼻胃管挿入・胃ろう交換について、ワークショップ形式で実技練習を行った。

#### 7)NST 情報交換会

院内各職種の情報交換を目的として、月 1 回、NST 情報交換会を行った。テーマは栄養に限らず、各職種持ち回りで話題提供を行ったほか、9 月 15 日には外部講師として鈴鹿中央総合病院の安井美和看護師に「鈴鹿中央総合病院における NST 活動と各職種の役割」という演題で講演いただいた。

文責：片多史明